

平成 26 年度 事業報告

【概括】

平成 26 年度は、法人後見の受任を積極的に進めましたが、終了件数も多く、全体的には微増の結果となりました。

また、自主事業として初めて「市民向け権利擁護・成年後見講座」を開催しました。この講座は、地域の福祉や権利擁護について広く市民に関心を持っていただくこと、実際に権利擁護活動に関わる人材を養成すること等を目的に実施しました。

あさがおでは、これまで法人後見活動の一部を「地域支援員」が担ってきましたが、より主体的な後見活動とするため、新たに「後見活動員」制度を創設し、本講座の修了生から 3 名の「後見活動員」が誕生しました。

また、この自主事業の実施により、また理事、職員による努力もあり、新会員や寄付金の獲得に向けた機運も高まりました。

【事業報告】

1. 保健・福祉・医療に関する総合相談事業

- (1) 権利擁護・成年後見相談事業（大津市受託：権利擁護支援・成年後見利用支援事業）
- (2) 成年後見制度利用申立て支援事業（同上）
- (3) 高齢者虐待・成年後見相談事業（滋賀県受託：高齢者成年後見支援センター事業）
- (4) その他相談（委託事業以外）

【新規相談件数】

大津市事業 219 件、滋賀県事業 19 件、合計 238 件

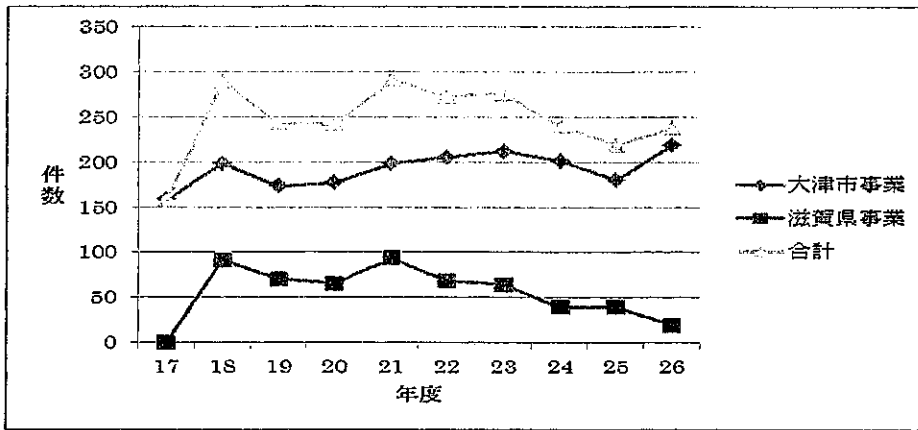
【のべ相談件数】 表 1 平成 26 年度 (件)

種別	大津市				滋賀県			
	虐待	成年後見	権利擁護	合計	虐待	成年後見	権利擁護	合計
高齢	108	786	62	956	6	14	4	24
障害	35	263	264	562	4	3	4	11
合計	143	1049	326	1518	10	17	8	35

【相談件数推移】 表 2 平成 17～26 年度 (件)

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
大津市事業	158	198	173	177	198	205	212	201	180	219
滋賀県事業	0	91	70	65	93	68	64	39	39	19
合計	158	289	243	242	291	273	276	240	219	238

【相談件数推移】 図1 平成17～26年度



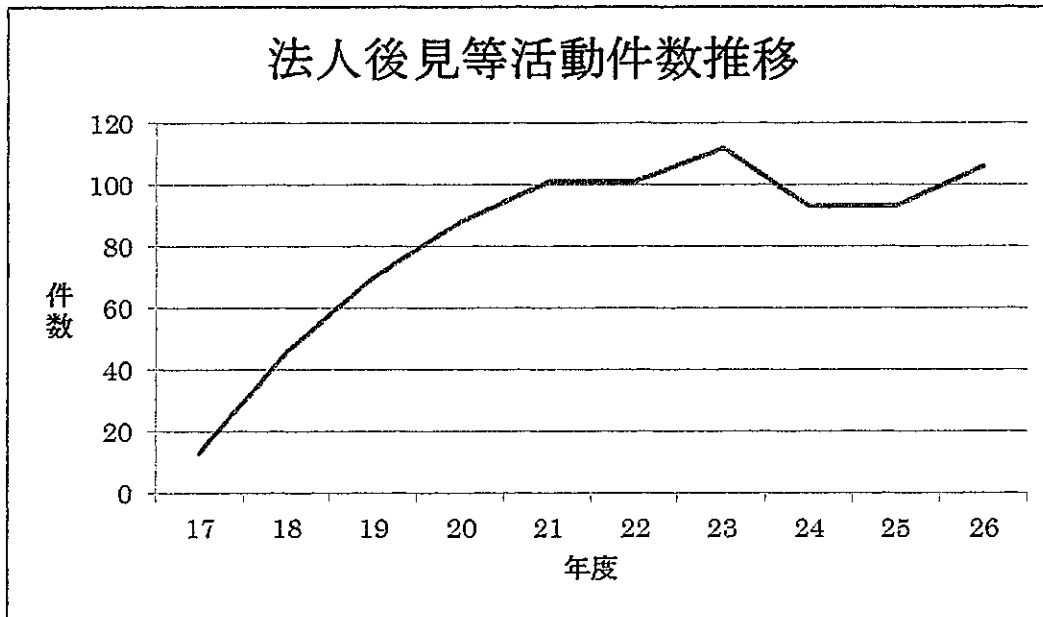
2. 権利擁護、成年後見に関する事務の提供

【法人後見等活動】 表3 平成17～26年度受任・終了件数 (件)

年度	月	後見		保佐		補助		合計	
		受任	終了	受任	終了	受任	終了	受任	終了
17年度	合計	10	0	2	0	1	0	13	0
18年度	合計	30	2	4	1	2	0	36	3
19年度	合計	19	6	9	1	3	0	31	7
20年度	合計	20	5	4	2	2	1	26	8
21年度	合計	17	9	5	2	3	1	25	12
22年度	合計	8	8	2	1	1	2	11	11
23年度	合計	13	5	2	2	4	1	19	8
24年度	合計	2	19	0	2	0	0	2	21
25年度	合計	3	5	1	2	3	0	7	7
26年度	4月	0	0	0	0	1	0	1	0
	5月	1	0	1	0	2	0	4	0
	6月	1	0	0	0	0	0	1	0
	7月	0	0	1	0	0	1	1	1
	8月	1	0	1	0	0	1	2	1
	9月	3	1	1	0	0	0	4	1
	10月	1	0	0	0	1	0	2	0
	11月	0	2	0	0	1	0	1	2
	12月	1	1	0	0	0	0	1	1
	1月	2	1	0	0	0	1	2	2
	2月	0	0	0	0	2	0	2	0
	3月	0	1	1	0	0	0	1	1
	合計		10	6	5	0	7	3	22
累計		132	65	34	13	26	8	192	86

現在 106 件

【法人後見等活動件数の推移】 図2 平成17～26年度



3. 権利擁護、成年後見制度に関する研修事業

高齢者虐待問題研修会（滋賀県受託：高齢者成年後見支援センター事業）

県内の地域包括支援センターや管理職を交えた市町担当課の職員を対象として、高齢者虐待対応の流れと役割、高齢者虐待防止マニュアルの確認、養護者支援の視点と面接技術について習得することを目的とした研修を実施しました。

【実施日】平成26年10月30日（木）9:30～16:30
平成26年10月31日（金）9:30～16:30

【実施場所】草津市立市民交流プラザ 大会議室

【講師】谷川ひとみ氏 谷川社会福祉士事務所
福島健太氏 SIN 法律法務事務所

【参加者数】のべ87名

4. 権利擁護、成年後見制度に関する普及・啓発事業

高齢者虐待防止セミナー（滋賀県受託：高齢者成年後見支援センター事業）

県民や民生委員児童委員、保健福祉関係職員を対象として、認知症高齢者に対する虐待防止を家族支援の視点でとらえ、行政をはじめ関係機関や団体、専門職が連携するとともに、地域住民の理解を広げていくための啓発を行いました。

【実施日】平成27年3月12日（木）14:00～16:00

【実施場所】草津市立市民交流プラザ 大会議室

【講師】副田あけみ氏（関東学院大学文学部教授・東京都立大学社会福祉学科名誉教授）

【内容】「認知症と高齢者虐待～家族を孤立させないために～」

【参加者数】91名

5. 1～4以外の権利擁護事業等

(1) 市民向け権利擁護・成年後見講座

地域の福祉や権利擁護について、広く市民に関心を持ってもらい、権利擁護についての基本的な知識や技術を習得することにより、実際に権利擁護に関わる人材を養成するための講座を開催しました。期間は、平成26年12月4日(木)～平成27年2月12日(木)の10日間、23講座、のべ497名が受講し、全課程を修了した方の中から3名が27年度から後見活動員として活動することになりました。

市民向け権利擁護・成年後見講座

		講義科目	講師
1	12月4日 (木)	権利擁護支援の基本	PAS ネット理事長 上田 晴男氏
		権利擁護支援に関わる制度と相談窓口	
		権利擁護の歴史・実態・サングループ事件等権利侵害の歴史	せせらぎ法律事務所 竹下 育男氏
		権利擁護支援とは? 地域の見守りの視点から(演習)	龍谷大学社会学部教授 筒井のり子氏
		相談援助技術①(講義)	佛教大学福祉教育開発センター専任講師 佐藤 順子氏
		相談援助技術②(演習)	龍谷大学社会学部教授 筒井のり子氏
2	12月11日 (木)	相談援助技術③(講義)	佛教大学福祉教育開発センター専任講師 佐藤 順子氏
		相談援助技術④(演習)	
3	12月18日 (木)	知的障害の理解①・知的障害とは?	やまびこ総合支援センター 中村 隆一氏
		知的障害の理解②・暮らしと生きづらさ ・支援の基礎	やまびこ総合支援センター 松岡 啓太氏
4	12月25日 (木)	精神障害の理解①・精神障害とは?	滋賀県精神保健福祉センター長 辻本 哲士氏
		精神障害の理解②・暮らしと生きづらさ ・支援の基礎	たかぎクリニックACT-Kチームリーダー 金井 浩一氏
5	1月8日 (木)	認知症の理解② ・暮らしと生きづらさ ・支援の基礎	認知症の人と家族の会 石崎 章氏、あさがお
		認知症の理解① ・認知症とは?	南草津けやきクリニック 宮川 正治氏
6	1月13日 (火)	福祉の制度①(高齢者)・介護保険、老人福祉、高齢者虐待防止	大津市健康長寿課主幹 宇田むつみ氏
		福祉の制度②(障害者)・障害福祉施策、障害者虐待防止	大津市障害福祉課副参事 高橋 忠氏
7	1月22日 (木)	福祉の制度③(貧困) ・生活保護	大津市生活福祉課長 橋 弘一氏
		その他の制度・消費者被害	あさがお職員
		成年後見制度①・歴史と概要	せせらぎ法律事務所 竹下 育男氏
8	1月29日 (木)	成年後見制度② ・後見活動の実際1 高齢者	あさがお職員
		成年後見制度③ ・後見活動の実際2 障害者	あさがお職員
9	2月5日 (木)	後見プラン	あさがお職員
		まとめ	あさがお職員
10	2月12日 (木)	閉講式	

(2) 大津市高齢者虐待対応検討会（大津市受託：大津市高齢者虐待対応指導事業）

高齢者虐待ケースについて、大津市に毎月1回、委員2名（弁護士、あさがお職員）を派遣し、虐待対応へのアドバイスを行いました。

(3) 障害者虐待対応への取り組み

①大津市障害者虐待対応や仕組みづくりに向けた助言

大津市障害者自立支援協議会権利擁護部会に毎月1回参加し、障害者虐待事例や虐待対応の仕組み等について助言を行いました。

②「障害者被虐待者一時保護のあり方研究会」

（社福）滋賀県社会福祉協議会主催の障害者虐待の一時保護の課題を明らかにし、研究することを目的に委員として参加し、ヒヤリング調査、アンケートを実施しました。（年4回）

(4) 権利擁護委員会「権利擁護システム構築に関する部会」

（社福）滋賀県社会福祉協議会主催の委員会に参加し、行政職員に対する権利擁護フォーラムへの協力を行いました。（年5回）

(5) 全国権利擁護支援ネットワーク協議会活動

全国権利擁護支援ネットワーク協議会の運営や研修事業に関わるとともに、近畿ブロックのフォーラムや全国フォーラムに参加しました。

(6) 各種協議会等への委員派遣

- ① 大津市社会福祉審議会（年2回）
- ② 大津市地域包括支援センター社会福祉士会議への出席（年6回）
- ③ 大津市自殺対策連絡協議会（年1回）
- ④ 相談機関連絡会・相談機関連絡会精神保健部会（年5回）
- ⑤ 甲賀・湖南権利擁護支援システム検討会（年1回）
- ⑥ 高島市高齢者虐待防止ネットワーク会議（年1回）
- ⑦ 滋賀県運営適正化委員会（年6回）
- ⑧ 滋賀県虐待防止推進連絡会議（年1回）
- ⑨ 滋賀県認知症対策推進会議（年1回）
- ⑩ 県内権利擁護団体との協力、支援（年6回）
- ⑪ 滋賀ネット懇談会設立準備のための協議会（年4回）

6. 法人内の取り組み

(1) 会議等の開催

- ① 総会（年1回）
- ② 理事会（年7回）
- ③ 職員会議（月1回）
- ④ 事業企画検討会議（プロジェクト ASAGAO=P.A）（月2回）
- ⑤ 弁護士相談（月1回）
- ⑥ 支援検討委員会（年1回）

(2) 組織の安定に向けた事業

① 新規会員獲得に向けた取り組み

介護・福祉関係者、法律関係者、行政職員等、あさがおと関わりのある方で会員でない方に、あさがおリーフレットをお渡しし、あさがおの活動に賛同して頂ける場合、会員となって頂くようお願いしました。平成26年度は賛助会員制度を創設し、1法人様に加入いただきました。

② 寄付の依頼に向けた取り組み

あさがおの権利擁護活動の周知・理解を図りながら、寄付の依頼に努めました。平成26年度は予算額を少し上回る寄付を頂きました。

③ 機関紙あさがお通信の発行（年4回）

4月、7月、11月、1月の4回、あさがお通信を発行しました。「理事・監事からのメッセージ」、「後見活動日記」のほか、相談員の仕事の紹介、あさがおの活動内容等を掲載しました。